

4.2 メンバー国での災害の特徴

表 11: アジア地域・アジア防災センター メンバー国別の自然災害による被害 (2003)

国名	災害の種類	災害数	死者数	被災者数	被害額 US\$ ('000s)
アフガニスタン	地震	1	1	1,001	
	洪水	8	145	3,750	
合計		9	146	4,751	
アゼルバイジャン	洪水	1		31,500	
合計		1		31,500	
バングラデシュ	地震	1	2	2,525	
	異常気温	2	215	0	
	洪水	2	252	550,000	
	暴風	3	58	420	
合計		8	527	552,945	
中国	干ばつ	2		51,000,000	
	地震	11	311	2,881,973	488,968
	洪水	6	695	152,724,340	8,144,640
	地滑り	2	46	0	
	林野火災	1		300	
	暴風	5	61	9,480,045	437,938
合計		27	1,113	216,086,658	9,071,546
東チモール	洪水	2	3	1,000	
合計		2	3	1,000	
香港(中国)	暴風	2	4	3,533	
合計		2	4	3,533	
インド	疫病	1		2,185	
	異常気温	2	1,610	0	
	洪水	6	735	7,564,545	169,000
	地滑り	1	25	0	
	暴風	7	164	531,314	44,000
合計		17	2,534	8,098,044	213,000
インドネシア	干ばつ	1		15,000	
	地震	3	1	3,249	
	洪水	7	266	88,428	
	地滑り	4	119	231,328	3,298

国名	災害の種類	災害数	死者数	被災者数	被害額 US\$ ('000s)
合計		15	386	338,005	3,298
イラン	地震	5	43,201	113,191	1,021,666
	洪水	1		1,370	838
	地滑り	1	20	4	
合計		7	43,221	114,565	1,022,504
イラク	疫病	1		0	
合計		1		0	
日本	地震	3	2	21,267	1,207,000
	洪水	1	23	814	7,000
	暴風	2	16	2,400	
合計		6	41	24,481	1,214,000
カザフスタン	地震	1	3	36,626	
合計		1	3	36,626	
韓国	暴風	1	130	80,000	5,500,000
合計		1	130	80,000	5,500,000
キルギス	地滑り	1	38	211	
合計		1	38	211	
レバノン	洪水	1		0	
合計		1		0	
マレーシア	洪水	3	8	18,800	
合計		3	8	18,800	
モンゴル	洪水	1	15	1,650	270
合計		1	15	1,650	270
ネパール	異常気温	1	48	0	
	洪水	1	239	59,254	
合計		2	287	59,254	
オマーン	暴風	1	30	0	
合計		1	30	0	
パキスタン	干ばつ	1		54,000	
	異常気温	1	200	0	
	洪水	3	266	1,266,243	
	地滑り	1	12	0	
	暴風	1	51	2,557	
合計		7	529	1,322,800	
パプアニューギニア	地滑り	2	13	621	

国名	災害の種類	災害数	死者数	被災者数	被害額 US \$('000s)
合計		2	13	621	
フィリピン	洪水	1		3,500	
	地滑り	1	255	217,988	7,000
	暴風	3	85	155,319	30,468
合計		5	340	376,807	37,468
ロシア	干ばつ	1		1,000,000	
	地震	1	3	1,805	10,600
	洪水	1		600	
	林野火災	1		0	
	暴風	1		0	
合計		5	3	1,002,405	10,600
サウジアラビア	洪水	2	12	13,050	
合計		2	12	13,050	
スリランカ	洪水	1	235	695,000	29,000
合計		1	235	695,000	29,000
台湾(中国)	暴風	1	3	0	
合計		1	3	0	
タジキスタン	疫病	1		256	
	洪水	1	6	1,755	20,000
	地滑り	2	1	6,181	41,000
合計		4	7	8,192	61,000
タイ	洪水	3	9	107,700	26,400
	暴風	1		5,000	
合計		4	9	112,700	26,400
ベトナム	疫病	1	15	7	
	洪水	3	128	416,823	105,000
	暴風	1		5,018	
合計		5	143	421,848	105,000
イエメン	洪水	1	15	0	
合計		1	15	0	
総合計		143	49,795	229,405,446	17,294,086

表 10 は災害の種類別に各国への影響を集計したが、表 11 はアジア諸国、アジア防災センターメンバー国の各国が、どのような自然災害から影響を受けたのかを表したものである。

アフガニスタンでは、地震や洪水により、かなりの人的被害を受けた。

バングラデシュでは、地震、異常気温、洪水、暴風が発生し、これら災害のほとんどが、人的被害・損失をもたらした。2003 年において、もっとも深刻な災害は洪水だった。バングラデシュは、ベンガル湾で発生するサイクロンの通り道であることから、気象災害の影響を受けやすい地域であることが知られている。

広大な土地と多くの人民を抱えた**中国**では、あらゆる種類の災害が報告されている。2003 年におけるもっとも深刻な災害は、洪水と暴風で、それに地震が続く。また、干ばつは、人々に深刻な影響をもたらした。被災人口という点からもっとも高い数値を示した自然災害は、洪水であった。

東チモールでは、洪水が発生し、それにより、人的被害がもたらされた。

2003 年の**インド**は、最も深刻な災害が発生した年で、大洪水が、アッサム、ヒパール、西ベンガルで発生し、700 万人以上の人々に影響を与えた。これは、2003 年の世界における、もっとも深刻な災害の一つであった。暴風もまた、人々に深刻な被害を与えた。インドは、地理的に、自然災害の影響を受けやすい地域に位置しており、ベンガル湾やアラビア海で発生した暴風や、ヒマラヤ山脈の活発な地殻活動による地震、モンスーン気候によってもたらされる洪水、乾燥、準乾燥地帯で発生した干ばつにより被害を受けやすい。

洪水、地震、干ばつ、地滑りは、2003 年の**インドネシア**に深刻な影響を与え、これらの災害は、被災人口という点から、もっとも深刻な災害であったといえる。インドネシアは地震帯に位置することから、地震国であるといえる。さらに、129 の活火山があり、火山噴火はしばしば発生する。しかし、2003 年には、火山活動に関連した災害の報告はなかった。インドネシアは雨季に発生する暴風に伴って、洪水が発生する傾向にある。

死者数という点からみれば、2003年に最悪の惨事をもたらした災害は、イランで発生した地震である。バム地震は、バムの歴史的な街並みを崩壊させ、たった一回の災害により、最も深刻な死者数を記録したものとなった。43,000名(イラン内務省発表では、26,200名)もの生命が奪われ、113,191名が被災した。経済被害も深刻で、10億米ドルという甚大なものとなった。

日本においては、経済被害額という点からすれば、前年同様、良い年とはいえなかった。北海道で2003年に発生した地震により、10億円以上の被害があり、20,000人以上の人々が被災した。洪水と暴風もまた、国民に相当の影響を与えた。

2003年に韓国で発生した自然災害のほとんどは、雨季に発生した洪水と暴風であった。その中でも特に、台風マエミは記録的な暴風となり、それによる被災者数と経済損失はかなり高い数値に達した。経済被害は50億米ドル以上となり、2003年において一つの災害による最悪の経済損失が記録された。

キルギスは、国土の90%近くが、海拔1,000m以上の山脈に覆われ、その山脈のうち40は、3,000m以上の高山地となっている。このような地理的条件が引き金となり、発生する自然災害は、活発な地殻変動による地震、雪解け水や地滑りによってもたらされる洪水である。2003年のキルギスは、地滑りによる被害を記録した。

マレーシアでは、モンスーン期の降雨により洪水と地滑り、熱帯低気圧による暴風による被害を受けやすい。2003年は洪水が発生し、人的損失と経済被害が比較的軽微であったにもかかわらず、被災人口はかなり高い数値に達した。

モンゴルは、ロシアと中国に挟まれた内陸国で、主な災害は、ズッド、豪雪、砂嵐、洪水などとなっている。2003年は、洪水が発生し、それにより人的被害、経済損失が発生した。

ヒマラヤ地域に位置するネパールの地理的条件を見てみると、ユーラシアプレートの下にインドプレートが入り込んでおり、地殻変動による地震が頻繁に発生する。また、洪水、地滑り、異常気温は、ネパールの脅威となっている。表11によれば、2003年には、深刻な洪水が発生し、

死者、家屋損失者、負傷者、被災者などかなりの被害をもたらされた。

パキスタンは、干ばつ、異常気温、洪水、地滑り、暴風の影響を受けやすい。2003年に発生したパキスタンの洪水は、120万人以上の被災者をもたらす大惨事となった。

パプアニューギニアは、地震、津波、火山活動、洪水、暴風といった様々な自然災害に対して極めて脆弱な国であるといえる。2003年に発生した自然災害の大半は、2002年とは対照的に、地滑り災害であり、多くの被災者が生じた。地滑りが原因による人的損失は、オセアニア地域全体で高い傾向がみられた。

フィリピンは、環太平洋火山帯に位置し、気象災害と地象災害の両方に対して脆弱である。前年同様、気象災害により生じた被害は、2003年において更に増加し、洪水、地滑り、暴風により多くの人々が被災した。暴風と地滑りによる経済被害は、際立ったものとなった。

ロシアは、広大な土地を抱えていることから、被災人口と経済被害は極めて顕著である。2003年には、干ばつ、地震、洪水、林野火災、暴風によって多くの人々が被害を受けた。また、このような災害により、多大な経済損失が生じた。

サウジアラビアは、2003年に発生した洪水により、13,000名以上の人々が被災した。

スリランカは、インドの南に位置するインド洋に浮かぶ国で、乾季には干ばつが発生し、ベンガル湾から発生するサイクロンが原因で、雨季には暴風、洪水、それにより引き起こされる地滑りが、この国の最大の問題となっている。2003年のスリランカは、歴史的な洪水や地滑りが発生し、深刻な被害をもたらされた。これらによる人的損失はかなり高い数値を記録し、被災者数も相当数にのぼった。さらに、この洪水と地滑りにより、この国の経済は大打撃を受け、経済被害は甚大であった。このように人的・経済的損失が発生したことにより、多くの国際支援を受けるに至った。

タジキスタンは、国土の大部分が山岳地帯に覆われていることから、地震と洪水は、この国にとっての脅威となっている。2003年には、地滑りと洪水が発生し、人的被害や経済損失といった

被害が発生した。

タイは、その国の地理的位置と地形から、自然災害の影響を受けやすい国であるといえる。北東地域は、洪水と干ばつ、南部地域は、暴風、洪水、地滑りの影響を受けやすい。2003年は、これらの災害によって大きな被害を受け、気象災害により被害を受けた人口の割合は、かなり高い数字を示した。

ベトナムは、東南モンスーン気候帯に位置し、年間降水量のほとんどが雨季に記録されている。この時期に毎年かなりの人的・経済的損失が生じる。2003年は、洪水によって多くの人々が被害を受けただけでなく、疫病や暴風により多くの人々が犠牲者になった年でもあった。

上述の表及びそれに対する分析からわかることは、アジア防災センターメンバー国やアジア諸国のほとんどの国が、気象災害による被害を受け(イランのバム地震を除く)社会に対して人的・経済的損失をもたらし、各国の経済発展を妨げているということである。さらに、災害が人々に多大な影響を与えることにより、彼らの社会経済的発展を妨げており、これがまた、国家や地域の発展を遅らせる原因となっている。2003年に、世界中で最も深刻な災害が発生した地域はアジアで(イラン、中国、バングラデシュ、インド、スリランカ、タイ、ベトナム、日本等)この地域に暮らす人々に大きな被害を与えた。それ故に、適切な災害軽減計画や災害予防計画を策定・実施して、人的・経済的損失と被災者数を削減することが最も重要であると言え、また、これにより世界における持続可能な開発に寄与できるといえるであろう。